

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年9月9日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【サブドレン(No. 3)中継タンク移送ポンプ出口流量計の指示不良について】 サブドレン(No. 3)中継タンク移送ポンプ出口流量低の警報の発生を確認。 原因はポンプ起動後、中継タンクの水位は低下しているが、流量計は「0m <sup>3</sup> /h」を指示していることから流量計の指示不良と判断。 今後、流量計を点検予定。 他のサブドレンでの汲み上げは実施可能であり、サブドレン全体としては影響なし。	GⅢ	9月3日
2	【G4南エリアにおける既設ケーブルの切断について】 G4南エリアタンク設置工事において、埋設ケーブル2本を切断したことを確認。 原因は、試掘調査時に埋設物表示は確認していたが、埋設物表示周辺に仮置きした掘削土をバックホウにて地上に掻き揚げる際に、埋設物表示周辺の土砂もバックホウで引きずってしまったことと判断。 埋設物表示を確認した場合、埋設物表示周辺の土砂を引きずらないよう再周知を実施済。	GⅢ	9月3日
3	【B南エリアにおける体調不良者の発生について】 B南エリアにおいて協力企業作業員が、体調不良を訴え救急医療室へ入室。 医師の診断結果、「熱中症Ⅱ」と診断され、点滴処置後、帰宅。	GⅢ	9月4日
4	【「管理区域立入許可証」発行の不備について】 管理対象区域入域時に、新入退域管理装置にて「管理区域立入許可証」が読み取れず、入域不可。 調査の結果、必要なデータが書き込まれていないことを確認。 原因は、「管理区域立入許可証」の発行を行った委託作業員が、「管理区域立入許可証」の発行時に必要なデータ書き込みおよび確認を失念したものと推定。 当該の「管理区域立入許可証」に必要なデータの書き込みを実施済。	GⅢ	9月3日